



蘇る一瞬 みとよ写真帳 page 43

このコーナーは、文書館に保存している古い写真を皆さんに紹介します。



**懐かしの1枚**  
祇園館  
昭和35(1960)年頃  
高瀬町

松竹座とともに、高瀬町にあった映画館。ギオン通りの祇園神社の向かいにあったので、祇園館という。昭和43(1968)年、祇園館跡地に観音寺信用金庫高瀬支店が新築されているので、この頃までには閉館していた。

※文書館では、まちの風景や催事などの古い写真を収集しています。原本はお返ししますので、情報の提供をお願いします。☎文書館 ☎63・1010

「思い出の1ページ」

「写真の左側に自転車がたくさん並んでいるでしょ。祇園館は自転車置き場が少なかったから、近所の商店や民家の人も有料で自転車を預かっていたんですよ」と写真を眺めながら当時は振り返るのは、ギオン通りに住む小野健さん(70)。

「あの頃、うちでも自転車を預かっていました。確か、1台、あめ玉1個くらいの金額だったかなあ。小学生だった私は、学校から帰ってきたら手伝って、小遣い稼ぎをしていたのを覚えています。」

当時はまだテレビが一般家庭に普及しておらず、娯楽といえば、映画やお祭りがメインだったそうです。

「学生や大人、家族連れ。いろんな年代の人が映画を見に来ていました。『新吾十番勝負』や清水次郎長シリーズなんかの時代劇が人気でしたよ。あとは、額に三日月傷がトレードマークの、早乙女水之介が悪人を倒す『旗本退屈男』も、連日立ち見が出るほど超満員になっていました。上映が終わったら、お客さんが一気に出てくるので、自転車を出すのに大わらわですね。」

映画が全盛期だった時代、地

域の人々にとって、祇園館はまさに文化の拠点でした。

「毎日たくさんの人が来て、とてもにぎわっていました。それで迷惑がかかるからと、祇園館から近所の人には、映画を夕ダで見られる木札が渡されてね。学校から早く帰れた日には、木札を持って祇園館によく行ったものです。お気に入りの席に座って、映画を見るのが楽しみでした。でも、ときどき、宿題をせずに見に行っていたので、家族が呼び出しに来ることもあったなあ(笑)」と、にこやかに思い出を語る小野さん。話とともに当時の活気ある祇園館の様子がよみがえるようでした。

編集 後記



**合** 併当時、中学2年生だった私は、市役所に入庁し、3年目になりました。一度しかない市制施行10周年記念式典に、秘書課の一員として参加できたことにうれしく思います。また10年、今の中学生から見て魅力的な地元の一面を伝えていきます。